

平成 28 年度

近畿建設協会研究助成の募集について

一般社団法人近畿建設協会

はじめに

一般社団法人近畿建設協会は、建設事業の円滑な推進に資し、国土開発の発展に寄与することを目的として各種の事業を推進しています。

このたび、当協会の公益事業の一環として、国立大学・公立大学・私立大学・高等専門学校における土木工学及び環境工学に関する分野の研究活動に対し、その研究費の助成をすべく、近畿建設協会研究助成を実施いたします。

平成 28 年度に助成を行う研究課題について以下のとおり募集しますので、奮ってご応募いただきますようお願いいたします。

1. 助成対象テーマ

平成 28 年度は、以下のようなテーマを設定し、これに関する研究について重点的に助成します。

- (1) 今後の河川・道路等社会資本整備のあり方に関する研究
- (2) 社会資本整備に係わる技術の向上に関する研究
- (3) 社会資本整備に係わる環境の保全と創造に関する研究
- (4) 自然災害の防災・減災に関する研究

2. 助成対象者及び助成規模

関西地方の国立大学・公立大学・私立大学・高等専門学校における研究者を対象とします。応募件数は、1 人（共同研究の場合は 1 研究グループ）あたり 1 件とします。

3. 助成金

- (1) 助成金額は、研究 1 件につき 100 万円以内とします。
- (2) 助成金の使途について、別紙 1「助成金の使途について」によるものとします。使途によって対象とならない場合がありますので、使途の可否が不明の際には事前に事務局までご連絡下さい。

4. 研究の実施

研究の実施期間は助成選定の通知のあったときから平成 29 年 3 月 31 日までとし、「近畿建設協会研究助成要綱」に従い研究を実施して頂きます。

5. 応募方法

下記書類を当協会ホームページ内の応募フォーム (WEB 申込) 又は郵送にてご提出下さい。

- (1) 研究助成申請書 (様式 1)
- (2) 研究課題概要 (様式 2)
- (3) 研究歴及び主な研究発表論文等 (様式 3)

※共同研究者がある場合は、「様式 1 4 項」に記載の方全員分が必要です。

※研究課題に関連した論文 1 編を添付して下さい。

※提出書類は、全て日本語で記入して下さい。

※様式 1・様式 2・様式 3 の書類は、当協会ホームページにてダウンロードしていただけます。

※WEB 申込をする場合は、応募フォームへの入力が様式 1 の代わりとなります。

また、様式 2・様式 3 の書類は応募フォームへの添付 (各添付ファイルは PDF のみ、1 ファイル 300KB まで) によりご提出ください。

※容量等の理由で、様式 2・様式 3 の書類が添付できない場合がございましたら、別途事務局までメールにてご提出ください。

※ご提出いただきました個人情報等に関しまして、当目的以外に使用することはありません。

6. 応募期間

応募期間は以下の期間とします。

平成 28 年 4 月 15 日（金）～ 平成 28 年 5 月 13 日（金） WEB申込：17:00 まで
郵送申込：当日消印有効

※WEB 申込をする場合は、最終日の 17 時までに、入力内容の送信を完了するようにして下さい。

※WEB 申込終了後数時間を経過しても応募受付完了メールが届かない場合は、事務局までお問い合わせ下さい。

7. 助成の選定

助成の選定は提出された申請書を基に、有識者等からなる「公益事業委員会」において審議し、助成を行う研究課題を決定します。

選定にあたっては、以下の点から総合的に判断を行い、助成を行う研究課題を決定します。

- (1) 問題意識が鮮明で、達成目標が具体的であること
- (2) 新しい創造・企画を目指すものであること
- (3) 研究の手法が明確であること
- (4) 助成対象テーマとの整合性がとれていること
- (5) 広域的、公益的効果を有すること
- (6) 実用化の可能性を有すること
- (7) 研究成果は国内への反映が望めるものであること

8. 選定結果

平成 28 年 7 月上旬までに、申請者宛に研究助成選定通知書(様式 4-1)又は研究助成非選定通知書(様式 4-2)で通知するとともに、選定された研究課題を当協会ホームページへ掲載します。

9. 助成金の支払い方法

研究助成選定通知書(様式 4-1)の受領後、原則 1 ヶ月以内に下記の書類を事務局までご提出下さい。

- (1) 助成金請求書(様式 5)
- (2) 助成金使途内訳書(様式 6)

上記の書類受理の後、ご指定の口座に助成金をお支払いいたします。

※個人名義の口座へのお振込みはできません。

10. 報告書の提出

研究期間満了日(平成 29 年 3 月 31 日)までに、下記 (1)～(4)を事務局までご提出下さい。

- (1) 研究助成完了届(様式 7-1)
- (2) 近畿建設協会研究助成報告書(様式 7-2)
- (3) 成果論文(自由様式)
- (4) 前述 (2)・(3)の電子データ(CD 媒体)

※研究期間満了日(平成 29 年 3 月 31 日)までに、上記 (1)～(4)を提出できない場合は、研究期間満了日までに下記の書類を事務局までご提出下さい。

- (1) 研究助成中間報告書(様式 8)

また、研究期間満了後 1 ヶ月以内(平成 29 年 4 月 30 日)に、下記の書類 (1)～(4)を事務局までご提出ください。

- (1) 研究助成完了届(様式 7-1)
- (2) 近畿建設協会研究助成報告書(様式 7-2)
- (3) 成果論文(自由様式)
- (4) 前述 (2)・(3)の電子データ(CD 媒体)

11. 研究成果の公開

- (1) ご報告いただいた研究成果について、翌年 9 月頃に当協会が実施します「近畿建設協会 研究助成発表会」で発表をしていただくことが助成の条件となります。
- (2) ご報告いただいた研究の成果等を示す文書、写真などは当協会のパンフレット・ホームページ等で使用させていただきます。

12. 申請書の提出先・お問い合わせ先

事務局：一般社団法人近畿建設協会 経営企画部 (担当：倉橋^{くらはし}、山野上^{やまのうえ})
 9:30～17:00 (土日祝除く)

〒540-6591 大阪市中央区大手前 1-7-31 OMM ビル 13F
 TEL：(06)6941-0174 FAX：(06)6941-1742 Mail：koeki@kyokai-kinki.or.jp

《手続きフロー図》

【応募】	応募期間中に、下記様式を事務局まで提出する。 郵 送：当日消印有効 W E B：申込終了日 17:00まで
H28. 4. 15	・様式1 研究助成申請書
↳	・様式2 研究課題概要
H28. 5. 13	・様式3 研究歴及び主な研究発表論文等

【選定】 H28. 7月頃	応募書類を公益事業委員会で審議し、研究課題を選定する。 選定後、申請者に研究助成選定通知書(様式4-1)・研究助成非選定通知書(様式4-2)を送付します。
------------------	--

【通知】	申請者は選定通知書(様式4-1)受領後、速やかに下記様式を事務局まで提出する。
様式4-1 受領後原則 1ヵ月以内	・様式5 助成金請求書 (大学所定の様式等がある場合は不要) ・様式6 助成金使途内訳書



報告書の提出

【報告書】	研究期間満了日までに、下記様式等を事務局まで提出する。
研究期間 満了日 (H29. 3. 31)	・様式7-1 研究助成完了届 ・様式7-2 近畿建設協会研究助成報告書 ・成果論文 (自由様式) ・電子データ (様式7-1, 7-2, 成果論文) ※CD媒体

報告書の提出

【中間報告】	研究期間満了日までに、報告書(様式7-1, 7-2等)を提出できない場合は、中間報告書(様式8)を満了日までに事務局へ提出する。
研究期間 満了日 (H29. 3. 31)	・様式8 研究助成中間報告書 ※満了日までに報告書等を提出できる場合は提出不要。

【報告書】	研究期間満了後1ヵ月以内に、下記様式等を事務局まで提出する。
研究期間 満了後 1ヵ月以内 (H29. 4. 30)	・様式7-1 研究助成完了届 ・様式7-2 近畿建設協会研究助成報告書 ・成果論文 (自由様式) ・電子データ (様式7-1, 7-2, 成果論文) ※CD媒体

助成金の使途について

助成金の使途内容として、下記のことを想定しています。使途内容によっては助成対象とならない場合がありますので、ご不明な点がある場合には、事前に事務局までご連絡下さい。

費目	使途内容	備考
人件費・謝金	<ul style="list-style-type: none"> ・実験、測定、実態調査、資料整理、集計作業等の研究補助者に必要となる費用 等 	
備品・消耗品費	<ul style="list-style-type: none"> ・研究に必要な図書、文献、一般事務文具、分析・測定用の試薬・試料 ・1点10万円未満の研究機材 等 	1点10万円を越える備品を購入される場合は、固定資産管理は大学で行う旨を記載して下さい。
印刷・製本費	<ul style="list-style-type: none"> ・研究関連の作成文書・書類の印刷費 ・文献・文書資料等の複写費 ・英文校正費、論文投稿費 等 	
調査費	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査、実験・試験、データ処理の一部を外部に委託する場合の費用 等 	
旅費・交通費	<ul style="list-style-type: none"> ・研究、会議等に要する交通費 等 例. 大阪⇄東京 (@0000 円/□人×○回) 	計上される場合は、目的、行き先、日程、交通手段等の詳細を記載して下さい。
通信費	<ul style="list-style-type: none"> ・当該研究に必要な電話、インターネット等に要する通信費 ・資料等の運搬費 等 	
借料・損料	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ、実験・試験の機材、研究に使用する車両等のリース料 ・当該研究に関わる会議の会場借り上げ費 等 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金管理費 等 	

※本事業の助成金の使用期間は翌年3月末までとなります。

研究助成申請書

一般社団法人近畿建設協会
理事長 霜上 民生 殿

【申請者】

所 属(学科、コース名までご記入下さい)

職 名
フリガナ
氏 名

印

貴会の研究助成金の給付を受けたいので、下記のとおり申請いたします。

記

フリガナ
1. 研究課題名

2. 申 請 額 円

3. 研究課題の概要
様式2のとおり

フリガナ
4. 共同研究者 所属・職名・氏名
(共同研究者がある場合はご記入下さい)

5. 連 絡 先 (申請者)
住 所 〒

T E L ()
E-mail

連 絡 先 (申請者が不在時に連絡が取れる方を記載願います)

所 属

フリガナ
担当者名

T E L ()
E-mail

研究課題概要

①申請者名	
②研究課題名	
③研究概要	本研究の概要を簡潔に記入して下さい。
④研究の背景	本研究の起案のきっかけとなった現状及び問題点、課題等を分かりやすく記入して下さい。
⑤研究の目的	前述の問題点、課題等を考慮するために、本研究で何を明らかにしようとしているのか（指針や解析・予測手法等の提案・開発等）を記入して下さい。
⑥研究の特色	本研究が、従来からの研究や他の研究と比較して特色的な点（従来の研究との違い、他の研究ではどこまで進んでいるのか等）を具体的に記入して下さい。

様式 2

<p>⑦研究の内容</p>	<p>前述の研究目的を達成するために、本研究ではどのような実施手順、手法によって進めていくのか具体的に分かりやすく記入して下さい。</p>				
<p>⑧研究の効果</p>	<p>本研究により、社会資本の整備・管理等にどのような効果があるのか記入して下さい。</p>				
<p>⑨成果の 公表方法</p>	<p>成果の公表方法について記入してください。 【記入例】 「〇〇学会 学術講演会にて発表予定」</p>				
<p>⑩キーワード</p>					

研究歴及び主な研究発表論文等

フリガナ 氏 名			
所 属		職 名	
研究歴 ※1			
主な 関連著書 論文 研究発表等 ※2			

※1 過去5年間の研究課題等をご記入下さい。

※2 学会、研究会等で発表された論文名、主な関連著書等をご記入下さい。また、研究課題に関連した論文1編を添付して下さい。研究課題に関連した論文が無い場合は、代表的な論文を1編添付して下さい。

近畿建設協会研究助成 「様式2 研究課題概要」 記入要領

「様式2 研究課題概要」の①～⑨の項目に関して、以下の点に注意して記入して下さい。

① 申請者名

様式1にて申請いただいた申請者名を記入して下さい。

② 研究課題名

様式1にて申請いただいた研究課題名を記入して下さい。

③ 研究概要

本研究の概要を簡潔に記入して下さい。

④ 研究の背景

本研究の起案のきっかけとなった現状及び問題点、課題等を分かりやすく記入して下さい。

⑤ 研究の目的

前述の問題点、課題等を改善するために、本研究で何を明らかにしようとしているのか（指針や解析・予測手法等の提案・開発等）を記入して下さい。

⑥ 研究の特色

本研究が、従来からの研究や他の研究と比較して特色的な点（従来の研究との違い、他の研究ではどこまで進んでいるのか等）を具体的に記入して下さい。

⑦ 研究の内容

前述の研究目的を達成するために、本研究ではどのような実施手順、手法によって進めていくのか具体的に分かりやすく記入して下さい。

⑧ 研究の効果

本研究により、社会資本の整備・管理等にどのような効果があるのか記入して下さい。

⑨ 成果の公表方法

成果の公表方法について記入して下さい。

【記入例】

「〇〇学会 学術講演会にて発表予定」

⑩ キーワード

研究に関するキーワードを5つ記入して下さい。